
ねえ、唯。

阿傘 唯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ねえ、唯。

【Nコード】

N4868BA

【作者名】

阿傘 唯

【あらすじ】

小説『case』『dejavu』に登場する主人公『唯』とヒロイン『七海』の会話劇です。ほぼ『ギャグ』と『下ネタ』と『パクリ』しかありませんので、注意して下さい。『阿傘 唯』のTwitterにも掲載してあります。そちらも合わせてよろしく願います。

ねえ、唯。曾野1（前書き）

下ネタがお嫌いな人はおいしく召し上がれない可能性があります。

ねえ、唯。曾野 1

「へえ。これが『Twitter』という猥褻な玩具なのね？」

「うわっ！？急に七海さん降臨してきたっ！？てことは、これって Twitter オリジナル！？てか『猥褻な玩具』て！？」

「だってそうでしょう？何だって書き込めるんだもの、私だったら。○。○な事を××に凹凸してやりたくなるのも当然でしょう？」

「何をする気っ！？そして、それらの記号には、いったい何がっ！？ちなみに『凹凸』はれっきとした漢字ですっ！」

「あら、唯にしては博学じゃない。御褒美に私のパンツをあげるわ。」

「いらんわっ！てかここで脱ぐなっ！…！こら！あ…頭に被せるなっ！『変態仮面』みたいになるだろ！？」

「これで貴方も念願の『変態紳士』の仲間入りね？」

「願ってねえ！？しかもこれじゃただの変態だしっ！？どう見ても紳士に見えねえ！てか確実に捕まる！」

「お仕事行つてらっしやい あなた。」

「『お勤め』！？僕『お勤め』に行つて来るの！？なんかそのがム力つくし！？」

「大丈夫よ。あなたの灰は、トイレに流しておくから。」

「『海』に流してっ！？『トイレ』って怖っ！？てか獄中で死にませんからっ！」

「私の『Yes, No 枕』に出てきてもいいわよ。」

「『夢枕』ね！死んでまで『Yes, No 枕』に出てくる僕ってなんて肉食系！？こっばずかしっ！？」

「私って、なんて『厚化粧の女』なのかしら。」

「『魔性の女』ね！おばはんかつ！？」

「今、何か言つた…？」

「いえ…何も…。」

僕は冷や汗をかきながら、青筋の立っている七海から、目を逸らした…。

ねえ、唯。曾野1（後書き）

ネタ切れ注意報発令中。

ねえ、唯。 曾野 2

「ねえ、唯。『七海様の可憐なお足に踏みつけにされたいです。』
って言ってみて?」

「うん、いいや。」

僕は、七海の言う事を無視して、勉強を続けた。

「ねえ、唯。『隣の客は、よきゆ、きやききゆつきやくだ。』って
言ってみて?」

「うん、言えてないからいいや。」

僕は、七海の言う事を無視して、勉強を続けた。

「ねえ、唯。」

「あんだよ!」

「『隣のガキは、よく夏期講習に来る女子生徒を喰うガキだ。』っ
て言ってみて?」

「言えるかっ!?? どんだけ破廉恥なガキなんだよそいつはっ!?? 勉
強しようよ勉強をっ!??」

僕は、七海の言う事を無視できず、勉強を中断した…。

ねえ、唯。曾野2（後書き）

次はクリスマスの時の会話です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4868ba/>

ねえ、唯。

2012年1月13日13時52分発行